

# 平成30年5月18日～19日(前線)出水概要 《第1報 5月22日 17時 時点》

## ＜今回のポイント＞

- ・国管理の雨量観測所で5月期として観測史上最大の日雨量を記録
- ・樺川水位観測所で5月期として戦後最大の水位を記録
- ・秋田市雄和地域において溢水による氾濫被害(約82ha)が発生
- ・排水ポンプ車による排水活動により、浸水被害を軽減
- ・引き続き、H29.7出水対応の「雄物川の緊急的な治水対策」を推進

雄物川 新波地区・向野地区・左手子地区



平成30年5月19日 11時頃撮影

東北地方整備局  
秋田河川国道事務所

※数値は速報値ですので今後の精査等により変更する場合があります。

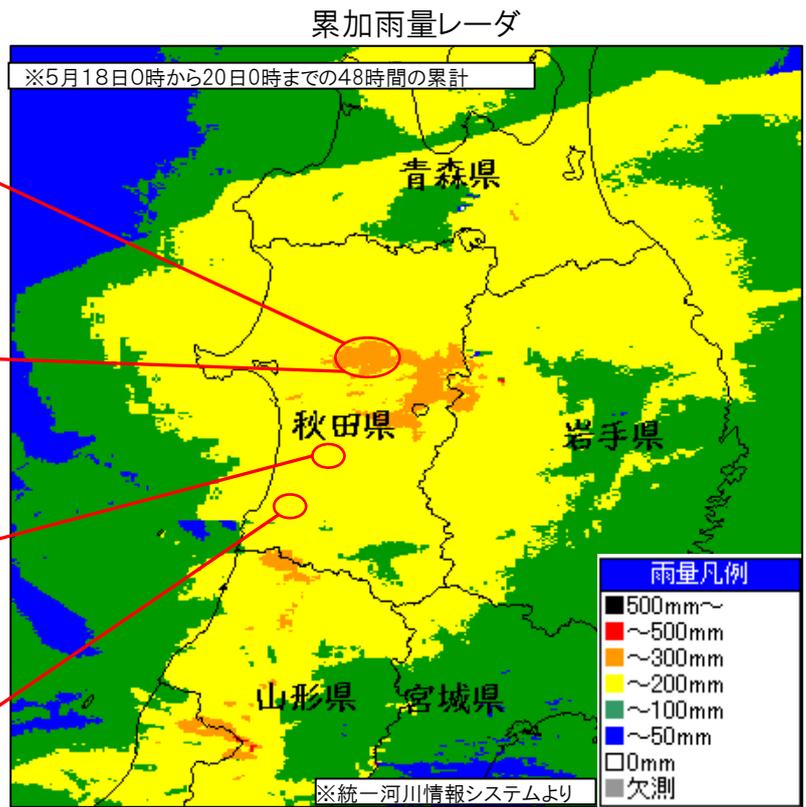
# 平成30年5月18日～19日（前線）の概要

活発な前線の影響で、秋田県で非常に激しい雨が降り、累加雨量は多いところで累加雨量が200ミリを超える大雨となった。

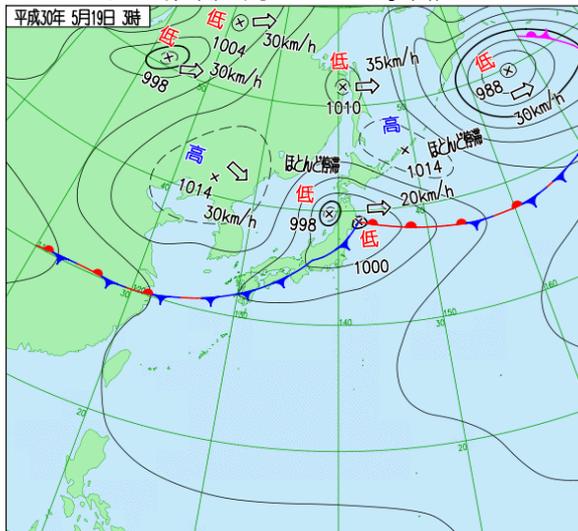
秋田市や由利本荘市等に設置している国土交通省管理の雨量観測所では、5月期として観測史上最大の日雨量を記録した。（砂子淵、朝日又沢、赤田、冬師）

また、<sup>つばきかわ</sup>椿川水位観測所では、19日11時に氾濫注意水位を超える7.57mの水位を記録し、5月期として戦後最大の水位となった。

- すなこぶち  
**・砂子淵**（国土交通省）  
 日雨量 **141mm**  
 累加雨量 **251mm**
- あさひまたざわ  
**・朝日又沢**（国土交通省）  
 日雨量 **158mm**  
 累加雨量 **271mm**
- あかた  
**・赤田**（国土交通省）  
 日雨量 **125mm**  
 累加雨量 **143mm**
- とうし  
**・冬師**（国土交通省）  
 日雨量 **110mm**  
 累加雨量 **152mm**

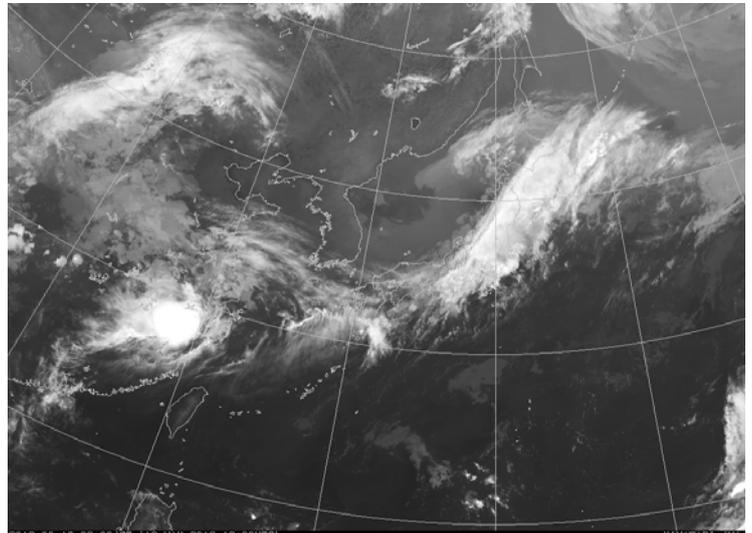


天気図(5月19日3時頃)



※気象庁資料より

衛星画像(5月19日3時頃)



※気象庁資料より

# 平成30年5月18日～19日(前線)における 秋田県内の直轄管理河川の状況

【平成30年5月20日 18時 時点】

## 1. 河川出水状況(秋田県内の直轄河川)

- レベル5(溢水) <1河川>  
おものがわ  
・雄物川
- レベル3(避難判断水位 超過) <1河川>  
こよしがわ  
・子吉川
- レベル2(氾濫注意水位 超過) <1河川>  
よねしろがわ  
・米代川

## 2. 直轄ダム洪水調節状況(秋田県内)

- 直轄2ダムで防災操作を実施  
たまがわ もりよしざん  
(玉川ダム、森吉山ダム)

## 3. 排水ポンプ車の出動状況(秋田県内)

- 秋田県(秋田市、能代市、大仙市、北秋田市)
  - ・排水ポンプ車 30m<sup>3</sup>/min × 3台
  - ・排水ポンプ車 60m<sup>3</sup>/min × 1台
  - ・照明車 × 3台
  - ・待機支援車 × 1台

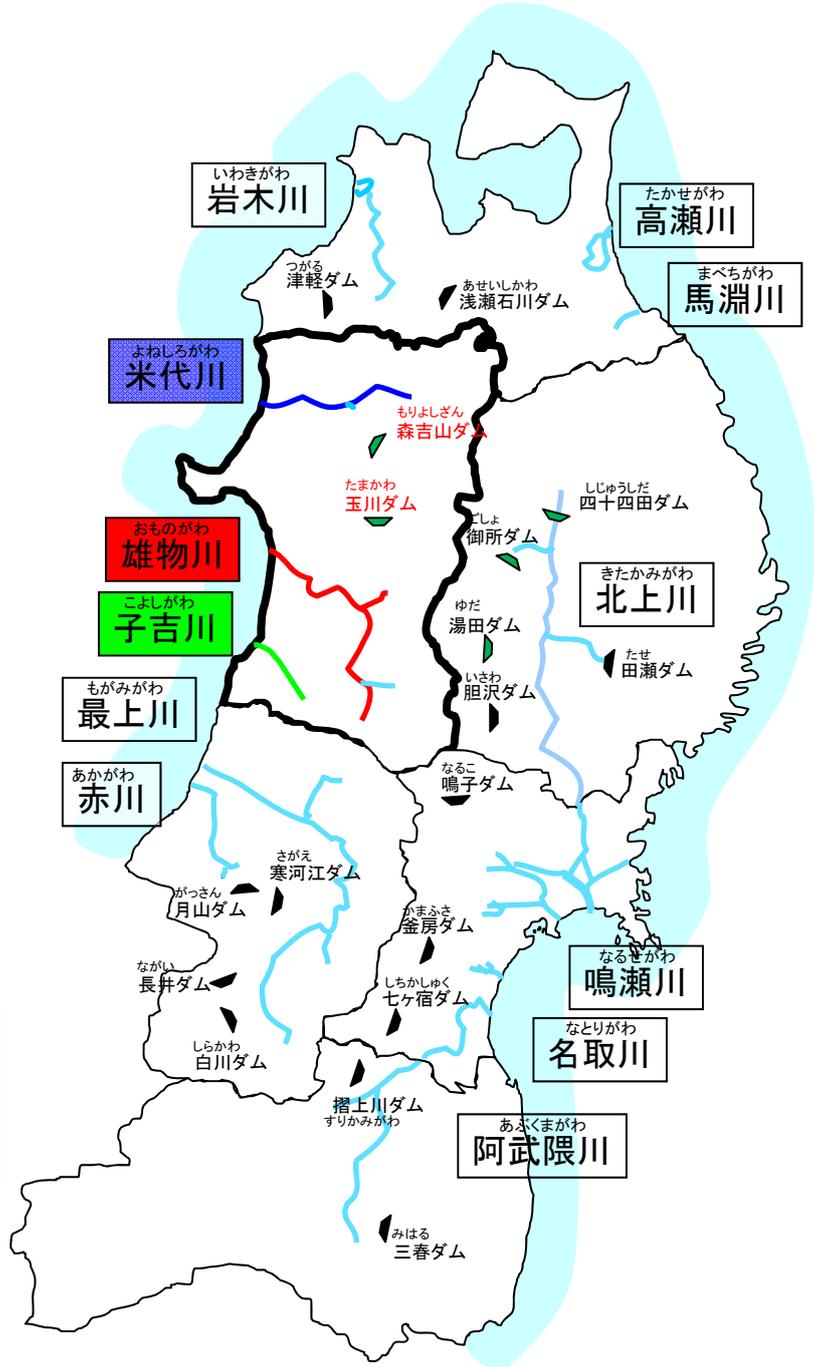
## 4. 一般被害状況(秋田県内の国管理区間)

- 雄物川 溢水(計8地区)
  - ・左手子地区(秋田市)
  - ・中村・芦沢地区(大仙市)
  - ・寺館大巻地区(大仙市)
 ほか5地区

## 5. 避難指示及び避難勧告(秋田県内)

- 秋田県4市4町で避難勧告  
秋田市、大仙市、由利本荘市、湯上市  
井川町、三種町、八郎潟町、五城目町

※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性があります。

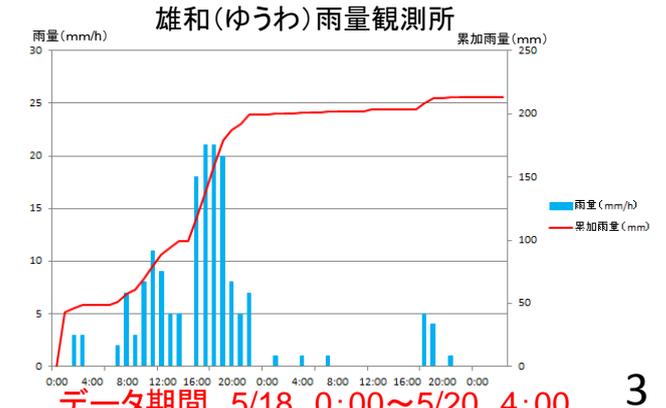
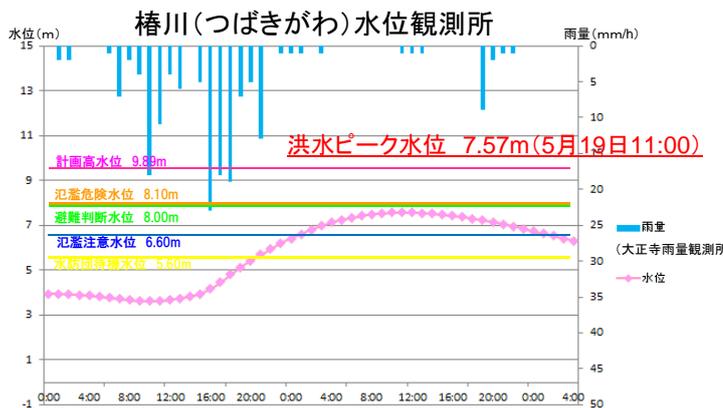
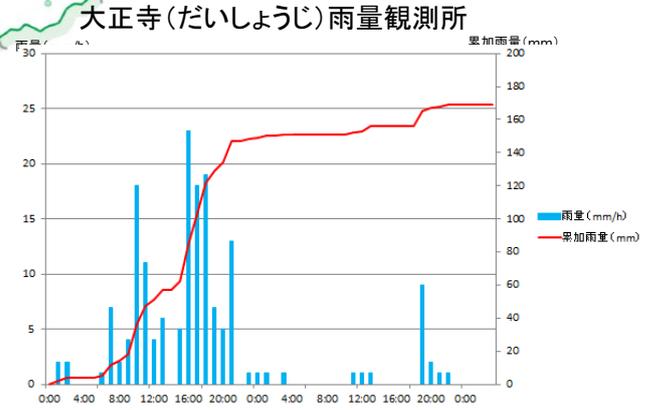
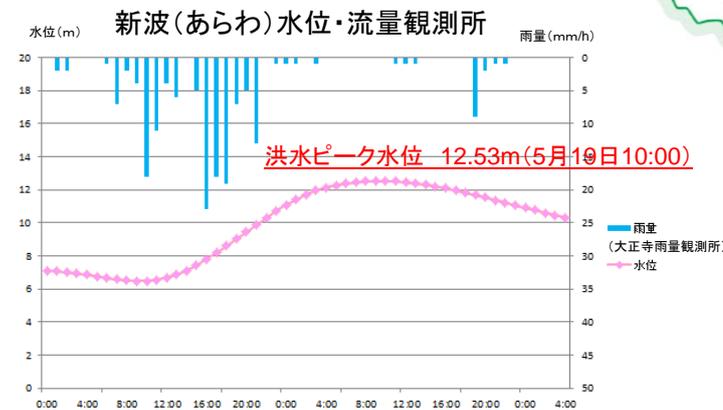


凡例	
<span style="color: red;">—</span>	レベル5(越水)
<span style="color: orange;">—</span>	レベル4(計画高水位超過)
<span style="color: orange;">—</span>	レベル4(氾濫危険水位超過)
<span style="color: green;">—</span>	レベル3(避難判断水位超過)
<span style="color: blue;">—</span>	レベル2(氾濫注意水位超過)
<span style="color: green;">▲</span>	防災操作実施ダム

# 平成30年5月18日～19日出水における おものがわ 雄物川下流の状況



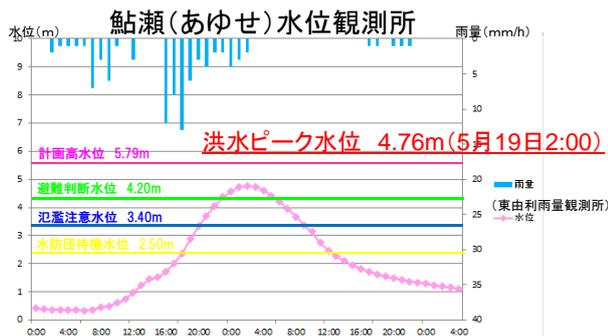
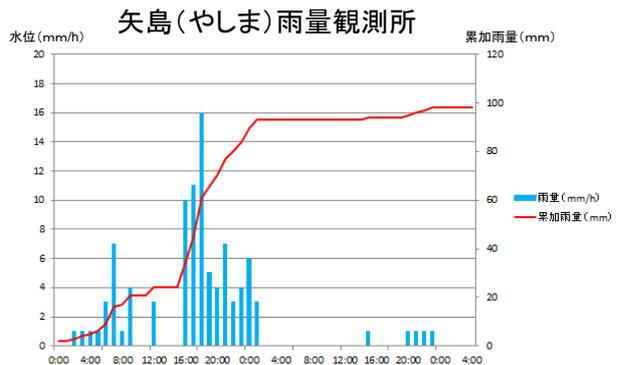
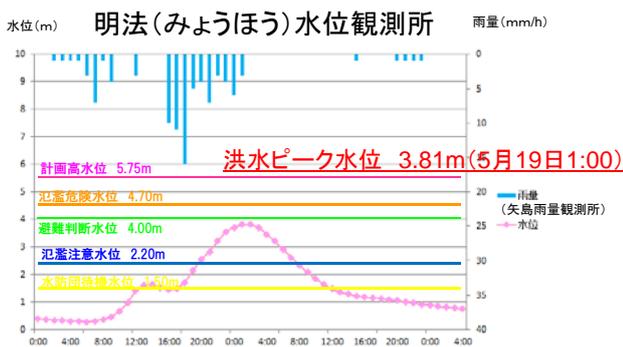
※水位、雨量の数値は正時データである



# 平成30年5月18日～19日出水における 子吉川流域の状況



※水位、雨量の数値は正時データである



データ期間 5/18 0:00～5/20 4:00

# 平成30年5月18日出水(前線)における 雄物川沿川の主な浸水状況



○H30.5.18の被害(平成30年5月20日 18:00時点)

■浸水面積 ※速報値

秋田市	0.82km <sup>2</sup> (外水0.82km <sup>2</sup> )
大崎市	1.99km <sup>2</sup> (外水1.99km <sup>2</sup> )
合計	2.81km <sup>2</sup>

■浸水家屋数(住家)※速報値

秋田市	0戸 (外水0戸)
大崎市	0戸 (外水0戸)
合計	0戸

※数値は国土交通省調査による速報値であり  
今後変更となる場合がある

# 排水ポンプ車の稼働状況・効果

## 災害対策機械(排水ポンプ車等)の支援(秋田市)

5月19日00:00 運転開始  
5月20日08:50 運転終了

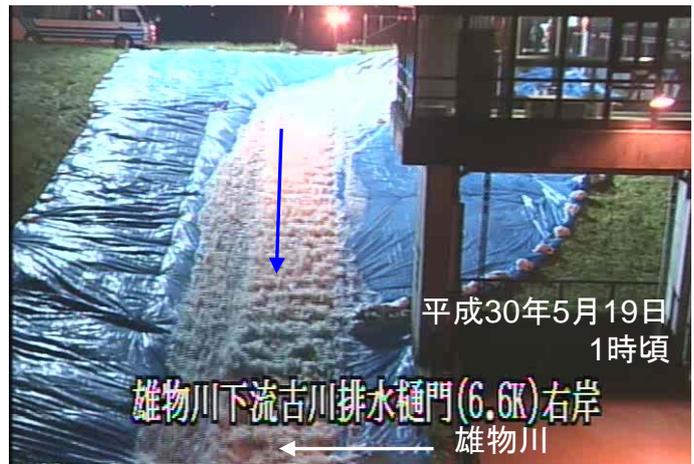


現地に配置した災害対策機械

- 排水ポンプ車 30m<sup>3</sup>/min × 1台
- 照明車 × 1台
- 待機支援車(バス型) × 1台

あきたしにいだ ふるかわはいすいひもん  
【秋田市仁井田地区(古川排水樋門)】

- 排水ポンプ車の稼働(約33時間)により、**約60,000m<sup>3</sup>の内水を排除**しました。  
(25mプール約165杯分に相当)
- 平成29年7月洪水では内水の影響により、**国道13号の交通が途絶**しました。  
今回、排水が行われたことにより、**国道13号交通の途絶発生防止の効果**があったと想定されます。



平成29年7月洪水における浸水状況  
(浸水により約31時間通行止め)



内水(宅地側にたまった水)を雄物川へ排水

⇒ **今回洪水では、浸水被害なし**

# 自治体への支援状況

## リエゾン(災害対策現地情報連絡員)の派遣

東北地方整備局では、自治体への支援・情報収集のため、1県2市1町1村へ10名(延べ21名)の職員をリエゾンとして派遣しました。

### 【リエゾン派遣状況】(平成30年5月20日12時 時点)

- あきたけんちょう  
・秋田県庁 2名(3名)
- あきたけんあきたし  
・秋田県秋田市 2名(6名)
- あきたけんだいせんし  
・秋田県大仙市 2名(4名)
- あきたけんみたねちょう  
・秋田県三種町 2名(6名)
- あきたけんかみこあにむら  
・秋田県上小阿仁村 2名(2名)

※( )書きは延べ人数



▲リエゾン活動状況(大仙市)



▲リエゾン活動状況(秋田市)



▲秋田県対策本部会議(秋田県庁)

### リエゾンとは

「Liaison」＝「つなぐ」というフランス語。

災害時に自治体へ派遣される職員(国土交通省など)を指し、災害対策現地連絡員ともいいます。

リエゾンは災害時に県庁等自治体に派遣され、情報の収集及び自治体の支援を実施します。

# おものがわ 雄物川における今後の河川事業の動き

- 雄物川では平成29年7月及び8月に発生した豪雨による甚大な被害への緊急的な対応として災害対策等緊急事業費(推進費)を活用して、**平成29年度より河道掘削(一般改修)や築堤(激特事業)を実施しています。**
- 浸水被害が発生した雄物川中流部における堤防整備等を**河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)**として概ね5年間で築堤や輪中堤等の整備を行い、河川の氾濫による家屋の浸水被害を解消していくこととしています。
- 今後本格化していく事業を強力かつ円滑に推進していくため、**平成30年1月1日付けで「雄物川激甚災害対策特別緊急事業推進室」を設置**しています。

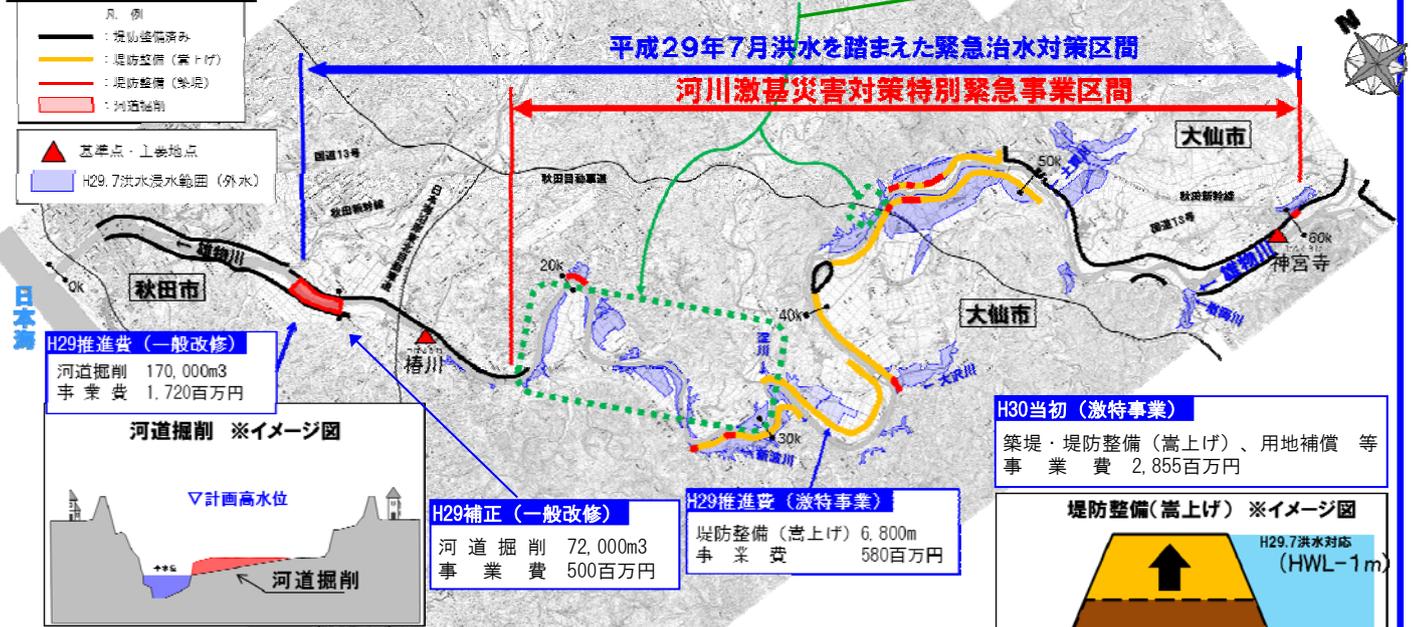


**河川激甚災害対策特別緊急事業の概要**

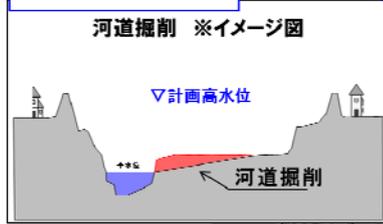
- **事業費** 約218億円 ※推進費を含む
- **整備内容** 堤防整備(築堤、嵩上げ)等
- **事業期間** 平成29年度～平成34年度

**災害対策等緊急事業推進費の概要(一般改修)**

- **事業費** 約17億円
- **整備内容** 河道掘削
- **事業期間** 平成29年度



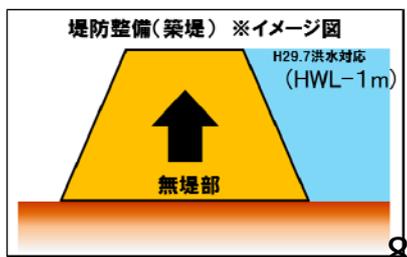
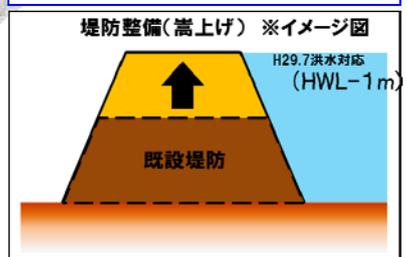
**H29推進費(一般改修)**  
河道掘削 170,000m<sup>3</sup>  
事業費 1,720百万円



**H29補正(一般改修)**  
河道掘削 72,000m<sup>3</sup>  
事業費 500百万円

**H29推進費(激特事業)**  
堤防整備(嵩上げ) 6,800m  
事業費 580百万円

**H30当初(激特事業)**  
築堤・堤防整備(嵩上げ)、用地補償等  
事業費 2,855百万円



## 激特推進室の設置(平成30年1月1日付)

